

旅とクラシック音楽

非日常的な刺激が作曲家たちに与えたもの（全2回）

～「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019」を前に～

現代の私たちにとって、「旅」は身近なレジャーであり、ビジネスシーンの一場面です。しかしクラシック音楽の作曲家たちが活躍した時代には、旅は地上や海上を何日もかけて移動する非日常的な体験であり、ときに一生を左右するほどの感動を与え、ときに生死をかけた一大事となることもありました。多くの作曲家たちが旅に出かけ、旅から受けた刺激をその創作に投影しています。この講座では「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019」を前に、「旅と音楽」を切り口としながら、さまざまな作曲家とクラシック音楽の魅力に迫ります。



講師 **飯田 有抄**

(クラシック音楽ファシリテーター、ライター)

東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程、Macquarie University修士課程通訳・翻訳修了。書籍、雑誌、楽譜、CD解説等に執筆。クラシック音楽ネットラジオOTTAVAプレゼンター。長年にわたりラ・フォル・ジュルネ音楽祭の公式レポーターを務める。

第1回

2019年 **4/3 wed.**

19:00～20:30 (18:30開場)

「旅という“刺激”が作曲家たちにもたらしたもの」

第2回

2019年 **4/10 wed.**

19:00～20:30 (18:30開場)

「音楽は文化と文化の出会いの結晶」

会場：日比谷図書文化館地下1階
 日比谷コンベンションホール（大ホール）
 定員：各回 200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
 参加費：各回 500円
 申込み：ホームページの申込みフォーム、電話（03-3502-3340）、
 び来館（1階受付）いずれかにて、①講座名②お名前
 （よみがな）③お電話番号をお知らせください。
 ※小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が
 必要です。（同伴者の方にも参加費が必要です。）

●試聴機材

SACD/CD プレーヤー ラックスマン D-08u
 プリアンプ ラックスマン C-900u
 パワーアンプ ラックスマン M-900u
 スピーカー フォステクス G2000a (PB)
 スーパーウーハー フォステクス CW250D



2019年 **5月3日(金・祝)～5日(日・祝)**

東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町、
 京橋、銀座、日本橋、日比谷



いつの時代にも、作曲家たちは新たなインスピレーションを求めて異国の地を目指しました。彼らは、異文化から吸収した様々な刺激を、自分たちの創作に取り入れて、数々の名作を生み出してきたのです。今回のLFJは、作曲家たちの旅の軌跡を多彩なプログラムで紹介します。

お問い合わせ先
 ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 事務局 (KAJIMOTO内)
 電話：03-3574-6833（平日10:00～18:30土・日・祝休）
<http://www.lfj.jp>

都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」
 A7出口／徒歩3分
 東京メトロ ●丸の内線「日比谷線「霞ヶ関駅」
 B2出口／徒歩3分
 ●千代田線「霞ヶ関駅」
 C4出口／徒歩3分
 JR「新橋駅」日比谷口
 (SL広場) 徒歩10分

※当施設に駐車場、駐輪場はございません。
 公共交通機関をご利用ください。



千代田区立
日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園 1-4
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>
 03-3502-3340

協力：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019 運営委員会、
 ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン